

# 2018 札幌ラウンドテーブル

2018年9月 **29日(土)** ~ **30日(日)**

10:00~17:00, 9:00~15:00

会場: 市立札幌大通高等学校

札幌市中央区北2条西11丁目

主催: 札幌ラウンドテーブル実行委員会

後援: 札幌市教育委員会

福井大学大学院福井大学・奈良女子大学・岐阜聖徳学園大学連合教職開発研究科

教育に関する「熟議」を主軸にした研究交流会です。

## 教育に関する

ジャンルレスの公開研究会です。

教師・研究者・社会教育・企業教育・学生・家庭教育等々、ひろく教育に興味関心をお持ちの方が集い、自身の活動を省察し、同時に他者の実践を丁寧に聞き取る交流の中で、**今後の自分の活動に資するような認識を互いに持ち帰る営み**です。

2日間で行います。

**初日午前**は**基調確認の全体会**、午後からは**分科会**に分かれ、これからの教育を考えていく着眼の1つになりそうなテーマを取り扱います。

**翌日**、研究会の**主軸となるラウンドテーブル**では、職業、立場、校種の違いを越え、過去の経験や現在の思いを相互に交流し、気づきや学びを互いに提供し合います。テーブル毎に「**報告者**」は**たてますが、講演会ではなく座談**です。報告中にも双方向のやりとりがあり、笑い声も上がる空気の中で行われます。

対話主体の研究会であるため、参加にあたっては**可能なかぎり途中退席を避けて**ご参加いただくようお願いしています。皆様のご参加を歓迎いたします。

**29日午前**の**基調講演**、今年は、**パネルディスカッション形式**で教育を考えます。

## 「教育をめぐる変化と将来課題」

パネリスト 福井大学連合教職大学院教授(研究科長) 松木 健一 氏  
札幌市教育委員会学校教育部長 檜田 英樹 氏

**29日午後**の**分科会**、今年は、**A~Cの3つ(予定)**。どこに参加しますか?

**分科会 A: 生活者の「ESD」をつくる「総合的教育」の視点を考える**

教育観・人材育成観は不変でいいのか?機能不全を起こしているとしたらその原因は?学ぶ側、雇われる側に寄り添って考えてみる。

**分科会 B: 学校(企業)風土を変えるために必要な「戦略」を考える**

学校組織、企業組織を変えようとしてもなかなか変わらない...その原因を分析し、変わっていくのに必要な要因模索の知恵を出し合う。

**分科会 C: 次世代の将来構想力と現実認識を共有する**

まだ社会人にはなっていないくても、次代を背負って立つのは学生層。社会の「中の人」ではないからこそ見えてくること、考えられることは。

## 札幌ラウンドテーブル開催の経緯とその趣旨

本研究会は今年で4度目の実施を迎えます。福井大学教職大学院が2000年から年2回ずつ開催し続けている、「実践し省察するコミュニティ・実践研究福井ラウンドテーブル」に参加した教員たちが、この形態での学びに可能性を感じ、札幌でも始めてみようとしてスタートしたものです。

また、福井で、そしてその後金沢大学でも行われた高校生と大学生のクロスセッションに参加した札幌市立高校生徒も、この交流を広げたいと、高校生と大人たちの学びの場を創出しています。

様々な主体によって行われる、全ての教育実践を可視化し体系づけて生徒の人生構築に寄与しうるものを追究する点に教師の専門性があることをうけ、実践のゆくえを遠くまで鳥瞰し、今後の教育現場が進む方向性について深く省察を加え、各人の糧にすることをねらいます。



## 2日間のタイムスケジュール

29(土) 10:00 受付 (1F「市民開放スペース」付近)

10:30 **オープニング** @1F多目的教室「DORIスペース」

・実行委員長挨拶 市立札幌大通高等学校校長 佐藤昌弘

・パネルディスカッション

進行:北海道大学教育学部

**「教育をめぐる変化と将来課題」**

准教授 篠原岳司氏

福井大学連合教職大学院教授

札幌市教育委員会

教授(研究科長) 松木健一氏

学校教育部長 檜田英樹氏

11:30

・トークイン **「『30年後』を大まじめに想像する」**

パネルディスカッションを受けて……

教育と社会は不可分だとして、ではその「社会」はどう変化していくだろう？  
参加者それぞれの窓から見えることを出し合い、将来について考えを深めて  
みませんか？

12:10

・諸連絡

**昼食休憩**… 校内で弁当を拡げてどうぞ。

飲み物の自販機は校内にもあります。

弁当の事前申込みをしていない方には、

複数のコンビニ(徒歩3分)をご案内します。

13:00

**分科会**

各自が事前申込したA・B・Cの分科会毎に分かれ、  
テーマについての思考を深める場です。

※ 各分科会の「関心事」はオモテ面を参照。

17:00

**終了解散**

※事前申込された方には、このあと懇親会をご案内します。

30(日)

9:00

諸連絡

9:10

**ラウンドテーブル開始** (12:00をめぐりにテーブル毎昼食)

※5名程度のテーブルに分かれ、以下のいずれかをご担当いただきます。

・ファシリテータ(論議を引き出す進行役)

・報告者(2名。ひとり90分程度。ただし聞き手とやりとりする時間)

・聞き手(テーブル論議を決定づける質問役)

15:00

**各テーブルごとに解散**

## 参加申し込みは

申込切は9月24日(月)!

PC・スマホから、以下の  
申込フォームをお願いします。

<https://form.os7.biz/f/a8328cfe/>

※QRコードから  
でも申し込みます。



## 「報告者」大歓迎!

話題提供してみませんか?

ラウンドテーブル参加者は必ず、

・ファシリテータ(全員から興味関心を引き出す)

・報告者(約90分かけて、自分が関わった実践を話題提供)

・聞き手(随時沢山の質問を出し感想を述べて論議を深める)

のいずれかの役割があたります。報告は通常、携帯などで写真を見せたり、または1~3枚程度のチラシ(6組要ります)を配布して説明するのが一般的です。資料なしで報告する人もいます。

あなたも報告者となって、たとえば去年の実践や今年の苦勞を、

みんなが考えるための材料として話題提供してみませんか?

申込時に、フォームで報告希望のむね、マークしてみてください。